



## 千葉県公立高校学力検査の分析～英語編

出典：総進図書

- ◎英単語や英文法を覚えるだけでなく、英文を読んで慣れることが重要!
- ◎リスニングの訓練も大事! とにかく耳で聞いて英語に慣れよう!

下表の網掛け部の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として算出。

●一昨年の検査から、試験時間が10分延長され、60分となったが、問題の構成は大問数9問のままで変化はなかった。当初は「リスニング時間が延びる?」「長文問題の量が増える?」と予想されたが、「英語の試験時間が不足気味」という声に応えたものだった。結果的に今年度も時間的なゆとりを感じる受検生が多かった。昨年度から短文読解の大問の中の小問の構成が、短文2題と図表の読み取り1題であったものが、短文が1題となり、その分、文章が以前より長く、資料も提示されていた。また、領域の構成は英語4技能のうち「聞くこと・読むこと・書くこと」が中心ではあるが、「話すこと」の領域(実践的コミュニケーション)を意識した出題が増えた。

●リスニングテストは、29年度から新しい形式が増え、配点も従来の21点から33点になり、重要度を増している。従来、「問題に印刷されたヒント及び例文を参考にし、英単語のつづりを書かせる問題」だったものが「英文を聞いてその内容を表わす空欄に英単語を補い完成させる問題」としてリスニング問題に追加され、「聞くこと」と「書くこと」が共に要求される複合問題と変化した。問われる英単語は、月や曜日など基礎的な単語が多いが、今年度は、放送で出た単語がそのまま答えとはならず、放送をヒントに書き換えが必要となるものだった。(放送: had a good time → 正解: enjoy)

●リスニング全体の放送時間は13分20秒(昨年度13分01秒)で、スピードも中学校で使用される教材に比べるとかなり速く、どんどん英語が流れてくるという感じだった。前述したようにリスニングの配点が高いことから、日頃からの訓練は、大変重要。とにかく、英語を聞き、慣れるしかない。どれだけ英語を聞いたか、その時間と量がものをいうこととなるので、毎日ある程度の時間リスニング訓練に費やしたい。市販の英語CDでも、NHK基礎英語講座でもよいので、楽しくリスニング力向上に努めてほしい。

聞くこと (話すこと)	リスニング テスト	配点	正答率	
		33点	49.3%	
読むこと (話すこと)	短文の読解	18点	正答 43.1%	44.4%
	長文の読解	13点	正答 38.2%	
	対話文の読解	13点	正答 52.6%	
書くこと (話すこと)	文法及び文構造	15点	正答 52.6%	68.0%
	英作文	8点	正答 44.1%	

4は、英語の文章を聞いてその内容に答える問題です。問題はNo1、No2の二題です。問題用紙にはそれぞれの英語の文章の内容に関するまとめの文やメモが書かれています。(問3秒) それらの文を完成するために①、②に当てはまる英単語を書きなさい。ただし□には1文字ずつ入るものとします。なお英文は2回放送します。では始めます。

No1 Nami was very busy last Saturday. First, she played basketball at school in the Morning. Next, she did English and math homework in the afternoon. Then she Practiced the piano for two hours. After everything, she could read the book her Brother gave her as her birthday present, and she had a good time.

(問7秒)(繰り返し) (問12秒)

No2 Hi, I'm Mark. I will talk about school bags. In Japan, many Japanese junior high School students wear school uniforms. They also have to use a bag which has their school name on it. That's the "school bag". However some junior high school students don't have to do this. Do we need school bags? I think they are good. When I use my school bag, I can feel that I'm a member of our school, and I don't have to choose from different kinds of bags. However my friend Kenta has a different ideas. He always says he wants to use a bag that he likes. What do you think?

### ④大問4のリスニング問題放送台本 ⑤設問 放送の指示で書き換える問題

No.1 Last Saturday, Nami had many (① t□□□□□) to do. But finally, she could (② d□□□□□) the book from her brother.

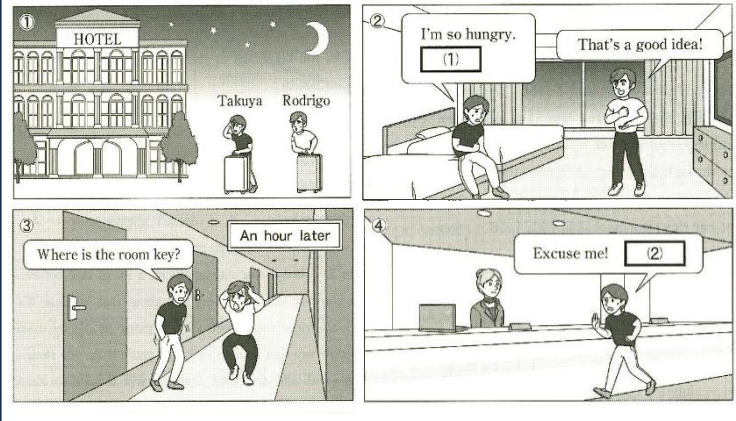
No.2 **Mark**  
 ・ thinks school bag are good.  
 ・ can feel that he is a member of his school.

**Kento**  
 ・ doesn't (① □□□□□) with Mark  
 ・ wants to use (② □□□□□□□□) bag.



●英作文は、令和2年度までは「対話形式で一方の人物からの言葉に対して絵が表す場面(状況)を参考に20~30語程度の英文で表現する」形式だったが、令和3年度以降の検査からは、絵が表す場面の4コマが続いている。昨年度は25語程度の穴埋めが1つ(8点)だったが、今年度は穴埋めが2つで、それぞれ10語程度を書かせるもの(各4点)だった。今年度は場面設定が「アメリカへの旅行中の出来事」で、「ホテルで食事後に鍵をなくしてしまう」というもので例年、日常的なことに关する様々な場面が設定されている。今まで以上に話の流れを読み取り、表現する力が求められているが、一文あたりの語数は少なくなり、そのうえ内容的にも書きやすい題材であったので、従前よりも取り組みやすい問題となった。対策としては、教科書に載っている「場面ごとの会話表現」を覚えることが最も有用であろう。

6 次の①~④は、大学生のタクヤ(Takuya)が、友人のロドリゴ(Rodrigo)とアメリカに旅行した時の出来事を描いたイラストです。②、④の場面で、タクヤは何と言ったと思いますか。①~④の話の流れを踏まえ、①、②に入る言葉を英語で書きなさい。ただし、語の数はそれぞれ10語程度(。、?!などの符号は語数に含まない。)とすること。



●英作文の学習については、まずは「英文を書くこと」が大切。どんなテーマでも良いので自分でテーマを決めて、20~30語くらいで書く訓練をすると良い。できた英文は先生に添削してもらい、正しい英文にして、それを覚えるようにすると効果的。「書きっぱなし」では上達は望めないなので、反復学習をすることで、「書くこと」の能力だけでなく、英語の単語力や文法に関する知識が向上するはず。

●学力検査で最も配点が高いのは「読むこと」の文章問題。ほぼ半分は文章の読解問題となる。試験時間が10分伸びたこともあり、来年度以降も英文が今以上に長くなる可能性や内容が難しくなる可能性は充分考えられる。そのため、「読むこと」のスピード、「内容を理解して正確に答える速さ」がますます求められる。近年、「日常的」なものに加えて、「時事的」なことを取り上げる出題が増える傾向にある。また、文章だけでなく、図表やイラスト等の資料から必要な情報、概要や要点を読み取る問題が増えてきている。そのため、文法問題や単語の暗記だけでなく、できるだけ多くの文章問題に取り組むことが大切となるため、公立学力検査・私立入試に関わらず、過去問に取り組むようにしたい。文章問題が出てきたら、「自分のわからない単語」を単語帳等に整理して覚える作業も有効的。語彙力がつき、より英語力も高まるはず。また、時事問題に関心を持ち、新聞やニュースを普段からチェックしておくことも大切である。

●一般入学者選抜本検査では、専門学科のうち国際科などで傾斜配点(英語に特定倍率をかける)があるので、英語が得意な人は有利。

○英語を1.5倍 → 松戸国際-国際教養 成田国際-国際  
 流山おおたかの森-国際コミュニケーション  
 市立松戸-国際人文 市立稲毛-国際教養

令和6年度千葉県公立高校入学者選拔出題方針等について (7月19日 県教委発表) 英語

昨年度と同じ

- ア 学習指導要領に基づき、英語の基礎的・基本的な知識及び技能と、英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、理解したり表現したりする力を全領域にわたり身に付けているかをみることができるようになる。
- イ 「聞くこと」の領域では、音声を通して、対話文やまとまりのある文章から話し手の意向や大切な事柄を聞き取り、適切に判断して答える力をみることができるようになる。
- ウ 「読むこと」の領域では、日常的、社会的な話題に関する文章や図表、イラスト等から、必要な情報、概要や要点を読み取り、適切に答える力や、読み取った情報を基に思考し、判断する力をみることができるようになる。
- エ 「話すこと [やり取り]」及び「話すこと [発表]」と「書くこと」の領域では、日常的、社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて話したり伝え合ったりする力及び自分の考えなどを英語でまとめ、適切に書く力をみることができるようになる。

